

令和8年度 事務事業評価シート（1）

〔 令和7年度事務事業 〕

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	選挙啓発事務				事業番号	028-001
担当部署名	選挙管理委員会事務局	局	選挙管理委員会事務局	部	—	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画2025	施策 との 関連	有・無	戦略	—		施策	—		
			無	取組の方向性	—					
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—		目標値	—		
	堺市SDGs 未来都市計 画 2021-2025	施策 との 関連	有・無	ゴール	—		ターゲット	—		
			無	取組	—					
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—		目標値	—		

2	関連計画			
3	事業開始年度	昭和 22 年度	点検対象年度（堺市基本計画2030）	令和 12 年度
4	実施根拠	公職選挙法第6条1項		

事業の概要

5	事業の実施主体	市選挙管理委員会、各区選挙管理委員会、堺市明るい選挙推進協議会				
6	事業の対象	全市民（有権者及び将来有権者になる市民）			対象数	単位
					804,163	人
7	事業の目的	全市民（有権者及び将来有権者になる市民）の政治や公職の選挙に関する意識の向上、投票参加意識の向上を図る。				
8	事業内容	1 若年層（将来有権者になる方）向けの啓発 ・高等学校、特別支援学校を対象とした出前授業（常時） ・出前授業（高校生向け）用教材作成 ・明るい選挙啓発ポスターコンクールの実施 - 募集（6月～9月） 入選作品（堺市分）の審査・決定・賞状贈呈（9月～12月） - 明るい選挙ポスターコンクール入選作品によるカレンダーを作成・配布（12月） ・明るい選挙啓発書道作品募集の実施 - 募集（10月～1月） 入選作品の審査・決定・賞状贈呈（1月） ・明るい選挙啓発作品展の開催（2月） 2 有権者（若年層を含む。）向けの啓発 ・明るい選挙リーダーフォーラム（指定都市ブロック）にて、啓発事業について意見交換や情報を収集 ・選挙管理委員会のホームページや堺市SNS等の活用（作品募集、選挙時啓発） ・明るい選挙啓発パネル展の実施（選挙制度などをわかりやすく紹介） ・選挙キャラクター「にゃんぱあー」の活用（投票済証の図柄として活用等）				
	※国・府の基準より上回って実施した内容					
9	主な支出先	公益財団法人 明るい選挙推進協会				
10	公民連携・協働事業					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標					
	市民の政治及び選挙に係る意識の向上					
	当該目標を設定した理由	全市民（有権者及び将来有権者になる方）に、政治及び公職の選挙について高い意識を持っていただき、選挙が公明かつ適正に行われるようにする。				
	目標に対する実績	市民の政治及び選挙に係る意識の向上に寄与した。				
12	活動指標	単位		実績	目標	
				令和6年度	令和7年度	令和8年度
	出前授業の実施回数		目標値	6	6	6
		回	実績値	5	5	
			達成率	83%	83%	
	当該指標を選定した理由	18歳から選挙権を有することになるため、その直前である高校生を対象に出前授業をすることが、政治や選挙に興味を持つきっかけとなるとともに意識の向上に効果的と考えたため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	過去2年度の実績と選挙日程を考慮し、目標値を設定した。				

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	選挙啓発事務	事業番号	028-001
-------	--------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和5年度	令和6年度	令和7年度		令和8年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	1,033	1,056	1,203	1,077	1,203
	財 国支出金	0	0	0	0	0
	源 府支出金	0	0	0	0	0
	内 市債	0	0	0	0	0
	記 その他（ 明い選挙推進協会研修会等実施助成金 ）	50	75	100	40	100
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
14	一般財源	983	981	1,103	1,037	1,103
14	人件費（b）	2,430	2,430	2,520	2,520	2,610
15	年間経費（c）=(a)+(b)	3,463	3,486	3,723	3,597	3,813

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	R8				R7	R8		
16	公益財団法人 明い選挙推進協会負担金	決算	400	400	通信運搬費	決算	129	129		
		予算	400	400		予算	82	82		
	その他報償費	決算	211	211	会場等借上料	決算	16	0		
		予算	266	266		予算	84	19		
	印刷製本費	決算	167	167	費用弁償	決算	7	0		
		予算	168	168		予算	12	0		
	保険料	決算	64	64	食糧費	決算	13	13		
		予算	65	65		予算	19	19		
	消耗品費	決算	48	48	その他（謝礼金、手数料など）	決算	23	6		
		予算	44	44		予算	63	40		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

		区 分		単位	令和6年度		令和7年度	
		①	②		③	④	⑤	⑥
17	①	出前授業の開催件数		回	5		5	
	②	上記①にかかる年間経費		千円	21		22	
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）		円/単位	4,200		4,400	
	算出についての説明等		出前授業開催経費／1回：職員1人×1時間の人件費					

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	・出前授業に係る主な経費は、授業を実施する職員の人件費であり、授業の教材は、職員がパワーポイントで作成することで、支出を最小限に抑えることができています。 ・選挙制度をわかりやすく紹介した「明い選挙啓発パネル展」の実施や、選挙啓発パンフレットなどのホームページでの公開をとおして、選挙制度を広く周知し、全有権者が広く知識を得られる環境を整備している。 ・有権者をはじめとした幅広い年代の方に選挙に関心を持っていただくことを目的に、選挙制度・親子連れ投票に関する展示や模擬投票体験を行う選挙ブースの出店を、各区分まつりにて実施した。実際の選挙で使用する機材などを使うため、支出は最小限に抑えることができた。模擬投票体験は、楽しみながら選挙を学べる内容であったため、大人だけでなく、子どもにも興味を持ってもらうことができた。 ・以上のことから、限られた予算を有効活用しているため、費用対効果は高いと考えられる。	
----	---	--

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	・本事業は、事業実施から効果が出るまでに長い時間を要することから、事業を継続し、意識を醸成し続けることが非常に重要である。 ・出前講座の実施、本庁舎や区役所での選挙啓発パネル展の開催、区分まつりでの選挙ブースの出店、ホームページの充実を図る等、全有権者が広く知識を得られる環境を整備し、政治や公職の選挙に関する意識の向上や、投票参加意識の向上を図っている。 ・明い選挙啓発作品の募集については、学校からだけでなく個人からの申し込みがあるなど、SNS、ホームページ等を活用した周知が徐々に成果を表していると考えられる。本事業は、作品の制作の過程をとおして、政治や選挙について家族で話し合うきっかけを提供することができ、子育て世帯への意識醸成につながるものである。	
----	---	--

令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）

20	必要性	■ 高い	選挙啓発業務については、児童・生徒段階から有権者に至るまで、幅広い層を対象に段階的かつ継続的に実施されており、全体として高い必要性及び有効性を有するものとする。
		□ 低い	まず必要性についてであるが、近年の投票率低下や若年層の政治参加意識の課題を踏まえると、選挙に関する関心や理解を早期から醸成する取組は極めて重要である。本市においては、ポスターコンクールや書道作品募集といった創作活動を通じて、児童・生徒が主体的に選挙の意義に触れる機会を確保しており、主権者教育の導入段階として大きな役割を果たしている。
	有効性	■ 高い	さらに、有権者向けには、明い選挙リーダーフォーラムでの情報収集・意見交換、ホームページやSNSの活用による情報発信、パネル展の実施など、多様な媒体・手法を組み合わせた啓発を展開しており、年齢層や関心度に応じたアプローチが図られている。
		□ 低い	次に有効性についてであるが、ポスターコンクールや書道作品募集については、募集から審査、表彰、作品展、さらにはカレンダー作成・配布まで一連の流れを通じて、参加者本人のみならず、家庭や地域社会への波及効果が期待できる点に特徴がある。特に入選作品の活用は、啓発効果の継続的な発信につながっている。